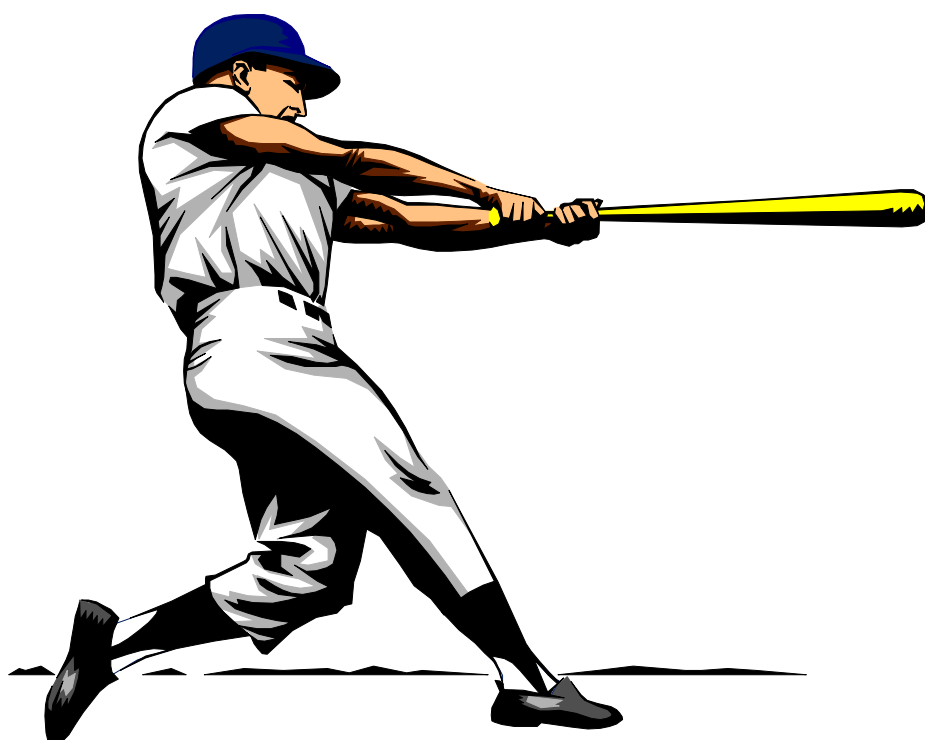


平成20年2月16日発行
名古屋ウエスタズ
Vol.88

月刊ウエスタズ



平成20年卒団記念号

はじめに

Aチームの皆さん卒団おめでとうございます。

今後の皆さんの活躍を期待しています。
これからも野球を好きでいてください。
また、河川に元気な顔を見せてくれれば嬉しく
思います。
人に迷惑はかけずに進んで行ってください。
何でもチャレンジして大きくなろう！

在団生の皆さんは、1つ上の学年に上がります。
目標を高く持って練習・試合に挑んでください。

Aチーム、コーチ・お母様方ご苦労様でした。
ありがとうございました。
今後の選手たちの活躍、そしてウエスタンズも
応援してください。
よろしく申し上げます。

白井代表より一言

第21期生へ

今、実感して言えることは、2～3年前に比べて
どの選手も大きくたくましくなってきたという
ことです。
入部当初の顔を思い出すと目を疑いたくなるほ
どです。
毎週見ていると別にどうってことない変化です
が、2～3年を一足とびに見るとその成長には驚
かされます。
選手たちの成長は、こうした目に見える体型では
ありません。体力がついたこと、動きが早くなっ
たこと、とっさの判断がついたこと、深い思考が
できるようになったこと、集団性が高まったこと、
友達への思いやりがついたこと、感じたこと、考
えたことを野球の中で表現できること、負けたと
きの悔しさ、勝ったときのうれしさの感性が高ま
ったこと、目標に向かって粘り強く取り組む意欲。
あげたらきりがありません(ちょっと、誉めすぎ?)
監督、コーチ、父兄の方も同じ思いをしていると
思います。
こうした子供の成長をただ発達段階ととらえて
しまえばおしまいなのですが、しかし、大人、親
が子供の成長を心から願い、意図的計画的に仕組
んだことも子供の成長を促す大きな要因になっ
ているはずだと思います。

手をこまねいて見ているだけでは子供たちの成
長ぶりを喜ぶ心情はこんなに大きくないと思い
ます。

今、私はお父さんとお母さんと共に子供の成長を
心から喜び祝福したい気持ちでいっぱいです。
これから第21期生ますます大きくたくましく
成長していきます。
その過程でつらいこと、苦しいことに何度も会う
でしょうがウエスタンズで学んだ強い心と体を
基にさらに前進してくれることを心から願って
います。
たまには、ウエスタンズを振り返るときがありま
したら、是非グラウンドへ顔を出してください。

藤井総監督より一言

第21期生の諸君 卒団おめでとう

総監督 藤井 義弘

この時期になると、本当に月日のたつのは早いも
だどつくづく思います。
入団したときには、あんなに幼かった選手が、こ
んなに立派に成長しました。肉体的にも精神的
にもたくましくなりました。
ご父兄の皆様もさぞかし喜んでおられることと
思います。
Aチームでは、優勝こそできませんでしたが、素
晴らしいチームになりました。
最後に守山ボーイズとの試合を見せていただき
ましたが、みごとな勝利でした。攻守とも良くま
とまったバランスのとれた、素晴らしいチームに
なりました。
改めて、小川原監督とコーチ、それから良く頑張
った選手たちに、大きな拍手を送りたいと思いま
す。自信を持って、胸を張って卒団してください。
本当におめでとう。

あの『八ニカミ王子』石川遼君がプロゴルファー
転向を宣言しました。

『夢は、マスターズで優勝することです。』

それから、お父さんのインタビュー

『トビがタカを生んだのではありません。』

トビがトビを生みました。

そのトビがタカになろうと努力しています。

私はその手助けをするだけです。』

親子ともさわやかで、好感の持てる語りぶりでした。

諸君も遼君に負けずに、大きな夢を持ってください。

そして『トビがタカになる努力』をしてください。

これから諸君は、それぞれの道を歩んでいきます。この名古屋ウエスタズで学んだ経験と自信を持って、力いっぱい、新しい道をスタートしてください。

重ねて言います。『トビがタカになる努力』をしてください。私も心から応援しています。

卒団おめでとう。

新しいスタートおめでとう。

ご父兄の皆さん、ご協力、大変ありがとうございました。そしてご苦労様でした。

お子様のこれから成長、発展、活躍、それから、ご家族ともどものご多幸を心からお祈り申し上げます。

小川原監督より 贈る言葉

卒団おめでとう！

これからも野球を続けていく上で名古屋ウエスタズの5つのモットーと「1」の野球そして感謝の気持ちを持ちつづけて下さい！では、監督から君たちへの最後のメッセージ……………！！

10 細口 知椰

責任感の強い君はキャプテンとして一生懸命にチームを引っ張ってくれた線の細い君が最後までショートを守ってるとは正直思わなかった。だけど君のひたむきに守ってる姿は確実にチームみんなの心をつかんだ！

これからの知椰に望むことは・・・もっと正直に感情を表に出せ！喜怒哀楽を出すことは恥ずかしいことじゃない！！大きくなっていく姿を時々見せにきてください。

キャプテン ありがとう！

1 伊神 達也

試合前、調子はどう？ と、聞くと答えは「う～ん 普通！？」「う～ん わからん！」答えはいつも同じ。

そんな君がマウンドに上がると顔が変わる宇宙人が人間に変わる時！？ そのときの達也の顔好きだった。ちっちゃな体で ホント よく投げてくれた。ただ出さえ遅い球なのに もっと遅いスローボール 絶品でした。

これからもそのちっちゃな体で大きなピッチャーになってください！

期待してます！！

2 藤田 将弘

《ラード》へんなニックネームつけてゴメンな！その強い体で芯をくらった時(なかなか当たらなかったけど・・・)の打球 長い間少年野球を見してきましたが 間違いなく一番です！

本気になって野球に取り組むようになったら 延び代の大きい君だけに どんな風に化けていくのか 本当に楽しみです。

キャッチャー・4番で甲子園に立っているラードの姿を期待して楽しみに待っています。

3 近藤 巨

サインプレーで刺した盗塁（少なかったけど）・外したスクイズ・打ち取った打球、「やったっ！」僕がちっちゃくガッツポーズをすると マスク越しにニコッと返してくれた 笑顔のガッツポーズ（。・_・。）ノ 楽しかった！！
巨がキャッチャーでいるこのチームで 監督としてはじめて守りの時間が楽しい時間になった。これからも大いに野球を楽しんでください！！

4 広田 勝士

ユーティリティープレイヤー勝士 他の選手がけがや病気で休んだとき ベンチとしては本当にありがたい選手だった。どこでも守れる・・・但し、平均点よりちょっと下・・・でも助かった。
勝士！ 野球 楽しかったかなあ～！？
いつも 君は、兄貴と戦い、親父と戦い、そして監督と戦っていたように思う。
これからは自分と相手と戦い 野球を楽しくやってください！！
そしたら もっともっとうまくなるよ！

5 酒井 友貴

君がサードを守るようになって内野が締まった！ 時々はなつ鋭い打球！ とにかく真面目に野球に取り込む姿はみんなの見本になってたと思う。可能性をいっぱい秘めたまま卒団してしまうことが少し残念だ・・・。
望むことが1つ・・・休み時間のあの笑顔、グラウンドで出せるようになったら もっとうまくなるし、もっと楽しくなるよ！
がんばれ！！

7 小川 郁生

君の柔らかい肘で、しなる腕で、投げるキャッチボールをはじめて目にした時、こいつエースになるぞ！って思った！が、期待は見事に裏切られた。足の故障があんなに長引くとは・・・ 足も速いし、バッティングもいいもの持ってるし、本当に残念・・・ 出来ることなら、これからの君を見たい！ 頑張ってください！
きっといい選手になります！！

8 芝田 大

いくつ助けられたのだろう？
君のセンターの守備で・・・本当に心強かった！
意外に！？ 真面目で器用な君は 監督・コーチの言うことを一生懸命に吸収しようとし 取り

組んでくれたおかげで 夏過ぎには 達也と二人 投の両輪となり そのころから チームが戦える軍団となり 勝てるようになったと思う。これからの「大」は名前のとおり 大きくなっていくんだろうな！ 見てみたい！これからも大を！！ がんばれ！！

9 齊藤 翔

レフトも、センターも、ライトも・・・ 君の守りでチームはいくつ救われたことか！
塁に出れば 大きなリードで相手投手のリズムを狂わせ 攻撃のリズムを作ってくれた！ チームにとって 本当に貴重な存在だった。
（2番・齊藤 翔は監督のヒット！？）
これからも自分の得意なところをどんどん伸ばして でっかい選手になってください！

11 宮川 寛大

ヒットを打ったときのあの笑顔、サインを見逃したときのあの泣きそうな顔、“絶好調男寛太” 守れば腰が高いし、投げる肘はなかなか上がらないし、バッターボックスではくそボールばかり振るし・・・でも、野球大好き！それが一番！一生懸命それが一番！元氣それが一番！
いつまでも今のままでいてください。
卒団してからも、グラウンドに顔を見せに来てください！

12 寺尾 拓磨

君は 練習では100%以上、試合では緊張、いつもいっぱいいっばいで 野球をやっていたように思う。（監督 そんなに怖かった！？）
休みの時間に見せるあの笑顔を野球で出せたら・・・もっと余裕を持って出来たら・・・。
これからの野球 声を出して、楽しくやってみてください！ もっともっとうまくなるよ！
がんばれ！！

13 佐野 圭佑

広田コーチの顔を見て泣き、監督の声に泣き、緊張しまくってグラウンドに足を運び出した頃 一つ辞めちゃうのか？と、思っていました。
ホント よく頑張ってきたな！（元）
泣き虫圭佑！？
試合にはあまり出られなかったけど・・・代打で打席に立ち（期待通り！？）三振すると今でも涙を流す。その涙はいいぞ！ これからもどんどん流せ！ 悔し涙！！

14 佐藤 旭

君が入団してきた時、この子続くのかな？ と、少し不安でしたが 見事に期待を裏切ってくれました。こつこつと努力し、だんだん野球が分かってきた頃からの君は 試合にはなかなか出られなかったけど コーチボックスで、ベンチでチーム一大きな声で 指示をし、檄を飛ばしてくれました。間違いなくこのチームの「殊勲選手」です。これからも努力！ がんばれ！！

15 鈴木 光一

「プロ野球の選手になりたい！」そんな夢を胸にチームに入団してきた君。誰もが せめてあと1年でも早く入ってきてくれたら・・・と、思っていました。夢に向かって努力することはすごく大事なことです。チームとして大事な時期で なかなか指導できなかつた事 すまなく思っています。これから成長していく君の姿をたまにはグラウンドに見せに来てください！ 待っています！

16 辻本 宏則

君とウエスタンズちょっと短すぎたね(・・) / なかなか指導できなくてゴメン！
君も光一と一緒に早く入っていてくれたら・・・これからだね 野球が好きなら 全然遅くないよ！
ウエスタンズで学んだ基本を少しでも思い出して これからも頑張ってください！

すべてのコーチたちへ

子供たちと過ごした時間楽しかったですか？
きっと残りますよ！ 親父と過ごした時間！
親父と同じ目的に向かっていて時間！
・・・そして、少年野球を熱く語り合ったコーチ会議?? 仕事と関係ないから言いたいことを言い合って、学生時代の気分で飲んだビール、楽しかったなあ～
4年間 わがままな監督に付き合って頂いて有難うございました。これからも、時間があつたらグラウンドに足を運んでください！
会議！？誘ってください！
長い間、本当にありがとうございました！！

お母さんたちへ

家の中や、学校では見えない子供の姿、いくつ発見しました？
好きなことに夢中になり成長していく子供 凄いですよね！
そんな環境づくりにいつもいつも協力していた

だき本当に有難うございました。

試合での応援は、子供たちはもちろん、ベンチにも大きな励みになりました。

15人の選手たちの次の16番目の選手・・・それが・・・母たち。いつも僕は思っていました。

感謝です！ 本当に長い間お疲れ様でした！
そして、ありがとうございました！！

卒団生からの言葉 「ウエスタンズと僕」

キャプテン 細口 知椰

僕がウエスタンズに初めてきたのは、2年生のゴールデンウィークです。

以前は、父とキャッチボールをしていたぐらいで、あまり野球を知りませんでした。

入団してすぐボールの投げ方や捕り方、バッティングに関しては、構え方から振り方など野球の基本から丁寧に教えて頂きました。先輩の選手に仲良くしてもらったり、監督やコーチに親切にしてもらって、とても嬉しかったです。

入団してから少し経って慣れてきた頃に、怪我や病気でごまかしてまでもウエスタンズに行きたくないと思うときもありました。

でも、母に励まされて頑張りました。

3年生になって小川原監督の下で、野球をすることになりました。どんな監督なのかと、ちょっと不安でしたが、いい監督で良かったです。

雨の日は、コーチの会社を借りて練習させてもらったり、勉強会を開いてもらってルールや野手の動きをホワイトボードに書いて教えて頂きました。

でも野球だけでなく礼儀や挨拶なども教えて頂いて日頃の生活にも役立っています。

僕達は、ただでさえ打てないチームなのに、守りも出来なくて、いつも自分達のエラーから失点して、自滅して負けていました。でも守備練習をいっぱいして守れるようになりました。

しかし僕は、バッティング練習をあまりしてなかったのが、日頃の素振りだけで打てるのか心配でしたが、0点で抑えれば負けは無いよと、言われたので信じてやりました。

あともう1つ監督は、ノーヒットでも点が取れるよとも、教えてくれました。

フォアボールやデットボールで出塁して、盗塁で2塁まで進む。送りバントで1アウト3塁。スク

イズで点を取る。その野球に近づくために、僕はバント練習を頑張りました。完璧とは言えませんが、ある程度決まるようになりました。

バントで勝った試合もいくつかあって改めてバントって大事だなと、思いました。

Aチームでは、「1の野球」を教えてくださいました。「1球のボールに集中する」「ワンプレーを大事にする」「取れる1点は確実に取る」「防げる1点は確実に防ぐ」この4つを忘れず中学でも頑張りたいです。

優勝こそ出来ませんでした。ウエスタンズに入って精神的にも体力的にも鍛えられて本当に良かったと思います。

1番 伊神 達也

僕がウエスタンズに入団したのは2年生の7月でした。

でも、最初に体験に行ったのが1年生のころでした。なぜ2年生の夏に入団したかという1年生の時は野球もあまり好きじゃなかったし、練習もかなりきつそうでした。続けられないと思ったからです。

1年生の時は入団するのをやめました。2年生の時に強引に入団させられました。

入団当初は練習もあまり楽しくなかったし、試合も出られなかったのであまりやりたくありませんでした。でも、4,5,6年生と大きくなっていくうちに練習もきびしい時もあるけど楽しくなり、試合にも出られるようになってだんだん野球が好きになり、学校でも、「伊神といえば野球」といわれるぐらい野球が好きになりました。

僕はこのウエスタンズに入団して練習も休憩時間も試合の時も楽しくてとても良かったです。

このウエスタンズの経験をいかして中学校でもなにごとにも頑張っていきたいと思います。

2番 藤田 将弘

僕は4年生のときにウエスタンズに入りました。チームの練習を見て僕は、「がんばっていけるのかな」と思いました。

何で今までやれたかという、1回練習に行ったとき同じ小学校の細口知椰君がいたので、すぐに皆と仲良くなって野球が面白いと思えました。

それからは、どんなつらい練習も仲間がいたから乗り越えられることができました。

最後に僕は、ケガをしてしまいました。でも、最後まで野球を続けてよかったと思います。

これからも仲間と一緒に野球を続けていきたいです。

です。

3番 近藤 亘

僕がウエスタンズに入団したのは4年生の夏休みでした。最初の方は「練習量が多いなあ」と思っていました。ですが練習をするにつれ、友達も多くなり練習が最初よりも辛くなくなってきました。練習が辛くなくなった代わりに試合が多くなりました。

初めて試合に出た時は、緊張して固まってしまいました。次の試合からは監督に「キャッチャーをやってみろ」と言われました。

最初はどのようにいいのかもわからず、ピッチャーの投げたボールを取ることで精一杯でした。ワンバウンドを取れなかったり、監督からのサインを見落としたり失敗ばかりでしたが、がんばって練習しました。やっとキャッチャーにも慣れてきたのに足のかかたが痛くなり、病院に行ったら成長痛と診断されました。成長痛に慣れるまでは本当に辛かったです。でも試合に出たかったのでがんばりました。

Aチームでは優勝できなかったけれど、チームワークが生まれ良い試合が出来るようになりました。

ウエスタンズは僕にとって野球の難しさやおもしろさを教えてもらった場所でした。

小川原監督、父コーチ、そして母たち、この2年半本当に有難うございました。

これからも野球をがんばって続けて行きたいです。

4番 広田 勝士

僕が野球をやったきっかけは、兄二人が野球をやっている楽しそうだったし兄の試合を毎週見に行っていたら、藤井監督に、「ゲームばかりやっていないで、野球をやってみろ。」と言われたので始めました。

僕の一番の思い出は、初めて試合でボールを取ったことと、初めてヒットうったことがうれしかったです。

逆につらかったことは百本ノックです。だけど全部捕った後の達成感がとてもうれしかったです。つらかったことやコーチに怒られたこともいっぱいあったけど、僕は1年から6年までウエスタンズに入っていて本当に良かったと思います。

最後に監督やコーチの皆さん、6年間ありがとうございました。

5番 酒井 友貴

僕は、五年生の夏にウエスタンズに入団しました。初めてウエスタンズでみんなと一緒に練習したとき僕は、「みんな上手だなあ」と思い、正直練習についていけるか心配でしたが、だんだん練習についていけるようになりしました。

最初の方は、なかなか試合に出れなかったけど、少しずつ出れるようになりしました。

僕が、1番心に残った試合は、ウエスタンズ最後の大会のしらさぎ杯の3回戦です。

僕は、「絶対負けないぞ」と心に誓いました。

なんとか初回到3点を先制し「あとは守りきるだけだ」と思いました。

しかし、相手チームの平和ドラゴンズが終盤に連続安打で同点になってしまいました。

そして、1点取ればサヨナラの最終回。

僕は、「絶対点を取ってやる」と思いました。

1アウト1・3塁。サインはスクイズ。僕は、1塁ランナーでした。ピッチャーが投げた球にバットが届かず3塁ランナーがタッチされてアウトになってしまいました。

そして、2アウトでバッターが打ち取られ抽選になりました。

僕は何も考えずにくじを引きました。

5 - 4で平和ドラゴンズと審判が言いました。

僕は、目に涙が浮かびました。

とてもくやしかったです。

ウエスタンズでは、一度も優勝できなかったけど、ウエスタンズで学んだことを生かして中学でもがんばりたいです。

いままで監督、コーチ、お母様方ありがとうございました。

7番 小川 郁生

僕は、4年生の終わりに入団しました。

ウエスタンズに入って一番の思い出は、スポーツ少年団野球大会の準々決勝です。結果は負けてしまったけど、いい経験になったと思います。

中学に上がってもウエスタンズで学んだことを生かして頑張っていきたいと思います。

監督・コーチ、今までお世話になりました。ありがとうございました。

8番 芝田 大

僕は父さんが野球をやっている所を見て「やってみたい!」と思い、それまでやっていたサッカーを辞めて、野球を始めました。

最初はバットもまともに振れず、代打で出しても

らっても三振ばかりでした。

打てるようになりたかったので一生懸命練習をしました。そうしたらいつの間にかヒットを打てるようになりました。

野球が上手くなるために素振り、ランニング、壁あて...をやってきました。

ウエスタンズに入っていなければ今の僕はいません。

監督、コーチ、一緒に頑張ってきたチームのみんなと野球が出来て、ウエスタンズに入って本当に良かったです!

これからも野球を続けて行きます!

9番 斉藤 翔

僕は、最初にウエスタンズに入った時、キャッチボールもまともにできませんでした。でも監督・コーチに多くのことを教わったおかげでいろいろなプレイができるようになりしました。

思い出すと、C2の頃は、一つ上の学年の4年生と試合をしていました。結果は20対0や15対2など、負け試合が一杯でした。特にひどかった試合は30対0で、試合後、監督にすごく怒られました。

その後、Cになり引き続きあまり勝てる試合はありませんでしたが、Bになると後半からだんだん勝てるようになりしました。Aになってからは、前半はあまり調子が良くありませんでしたが、後半はかなり調子が上がりたくさん連勝できるようになり、すごくうれしかったです。ただ、優勝できなかったことはすごく悔しく思っています。愛知海に負けた試合、守山ボーイズに負けた試合など、惜しくも優勝を逃した試合が二・三回ありました。

優勝できなかったのはすごく悔しいけど、ウエスタンズでの三年半の間に監督・コーチに教えてもらった多くのことは、次の中学野球でしっかりいかし、もっと努力し頑張ろうと思っています。

今まで大変お世話になりました監督・コーチ・お母さん方、本当に有難うございました。

11番 宮川 寛大

僕は、4年生の夏に、ウエスタンズに入りました。入った理由は、テレビでプロ野球を見て、野球選手が、カッコイイと思ったからです。

そして、ウエスタンズに入って、野球以外にも沢山の事を学びました。その一つが仲間の大切さです。これまでも、友達を大切にしてきたけど、ウエスタンズに入って、試合や練習を重ねてゆく

ちに、もっと友達の大切さがわかりました。ウエスタングで、技術や体力をつかめたけど、野球以外で、大切な事を学んだので、本当に入ってよかったと思いました。監督 コーチ 母と一緒に練習した仲間ありがとうございました。

12番 寺尾 拓磨

僕は、このウエスタングに4年の冬頃に友達に誘われて入団をしました。

最初は知らない子ばかりだし、分からないことが沢山あったのでかなり不安でした。

入団する前は土日や祝日の日は遅寝遅起きだったため、8時30分集合はすごく眠くてついていけませんでした。

でも、自分から言葉に出して「やめたい」とは言わないようにしていました。何故かと言うと、野球が好きだし、勝ちたかったからです。

その気持ちを思い出してからは、野球がすごく楽しくなってきた試合にも出られるようになってさらに楽しくなりました。

夏が来ると、すごく暑くて何度も倒れそうになりました。でも、「絶対に倒れないぞ!!」という気持ちはすごく出てきました。(結局倒れてしまったけれど・・・)

初合宿の100本ノックでは、最初のほうは、楽だったけれど、30・40と増えていくにつれて、息をするのもきつくなりました。左右に振られて余計きつかったけれど最後まで諦めずに頑張りました。今思うと、あんなにきつかったことを頑張れたのはウエスタングに入ったからこそ、できたのだと思います。

ほかにも野球のことはもちろん、体力や礼儀の面でもウエスタングに入ってからずいぶん変わりました。そして、もしウエスタングに入っていなかったらどうなっていたのだろうと思うくらい自分の中で大きなことになりました。

こう思えたのも、今までウエスタングに関わってきた方々と一緒に頑張っていて励ましあった仲間のおかげです。

本当にいろいろなお指導ありがとうございました。そして、みんなもありがとう!!

13番 佐野 圭佑

Aチームの佐野圭佑です。

僕がウエスタングに入団したのはBチームの始めでした。

ウエスタングに入団した理由は、野球が上手くな

りたかったからです。

入団した時の印象は練習がきつそうだなと思いました。やってみたら本当にきつくて、初めての練習が終わった時はほっとしました。ランニングは特にきつかったです。

でも、監督やコーチに基本から教えて貰い野球が楽しくなっていました。

お父さんも父コーチとして参加してくれて嬉しかったです。

僕が特に印象に残っているのは8月の合宿です。朝早くから色々な練習をしました。

3日で6000本の素振り、手の豆が潰れて痛かったけど、6000本振り切ったときは嬉しかったです。100本ノックでは、左右に振られ足が動かず凄く苦しかったです。

でも100本全部捕れたときは嬉しかったし、ホースで掛けてもらった水は気持ち良かったです。

なかなか試合に出れなかったけど、ファーストで試合に出れた時は1番嬉しかったです。

中学生になっても、ウエスタングでの経験を生かして野球を続けていきたいと思います。

監督・コーチ、2年間ありがとうございました。

お母さん達、応援ありがとうございました。

14番 佐藤 旭

僕がウエスタングに入団したのはBチームの9月です。

体験練習に参加したとき、みんな楽しそうに練習していて上手だったので、このチームに入りたいと思いました。でも、始めのうちは練習がとてもきついと感じてしまい、みんなについていけるかどうか心配でした。それでも、家で素振りなどの練習を重ね、みんなに追いつこうと思いながら週末の練習に参加してきました。

そして、Aチームの始め頃にはみんなと同じくらいの練習ができるようになりました。

そのウエスタングの練習の中で一番心に残っているのは合宿です。合宿も初めてだったので、行く前はとても緊張していました。

合宿で特に印象に残っているのは百本ノックです。百本ノックは息つく暇もないほど次から次へとボールが飛んでくるので、とてもきつかったです。僕は百本ノックが終わった後、熱中症で倒れてしまい、そのまま病院へ運ばれたのでその後の記憶はありません...。が、百本ノックのことはいつまでも忘れられないと思います。

僕がウエスタングに入ってから学んだことは、野球は試合に出ている9人だけでやるものではないと

ということです。ベンチにいる一人一人が役割を持っていて、全員が自分の役割をしっかりとやることで初めて試合に勝てるんだと思いました。

僕はもっと試合に出たかったけれど、ランナーコーチとして試合に出ているのだと思うと、とても嬉しくなってランナーコーチを頑張ることができました。

ベンチでの僕の目標だった「一番の声出し」はできたかどうかわかりませんが、自分ではとても声を出せたと思うので満足しています。

それでも、やっぱり試合に出たいので、中学ではレギュラー目指して頑張ります。

監督、コーチへ

今まで僕達に野球を教えてくださいまして、ありがとうございました。優勝はできなかったけれど、ウエスタズで教えてもらった野球を忘れずに中学でも頑張ります。

15番 鈴木 光一

僕は、ウエスタズに入って友達がいっぱいできたり前よりは野球がうまくなれたと思います。

いつも僕のことを自分の子供のようにしかってくれる監督やコーチ。最初は怖そうな監督やコーチだと思ったけど、ウエスタズで野球を続けていると選手一人一人のことをこんなに思ってくれているんだなと思いました。

監督、コーチ、今まで本当にありがとうございました。

16番 辻元 宏則

ぼくが入団したのはちょうど合宿の前で、入団していきなり合宿で、すごくきんちょうしました。けれど合宿に行ってみると友達もできてすごくうれしかったし、ほっとしました。

そして練習の時には、ぼくがエラーした時等は友達や色々なコーチがぼくにアドバイスをしてくれました。

エラーした時はくやしかったけれど、チームのみんなが「ドンマイ」といってくれたりして、ぼくもがんばろうという気持ちになりました。

ぼくはウエスタズに入って本当に良かったと思いました。中学に行っても、この経験をいかして野球をがんばろうと思います。

本当にありがとうございました。

選手紹介

このコーナーでは、これから入団する新入団員の紹介をいたします。

チーム	学年	氏名	学校名
B	5	森下 良一	大森

1月の成績

Aチーム

H20.1.13(日)

しらさぎ卒団記念 2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタズ	3	0	3	1				7
萩原少年野球クラブ	0	0	3	0				3

H20.1.13(日)

山本杯 第6戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタズ	1	0	1	6	0	0		8
不二ジュニアベースボールクラブ	0	0	0	0	0	0		0

H20.1.14(祝)

山本杯 第7戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタズ	1	6	0	0	0	1		8
サウスブレイク	0	2	0	0	0	0		2

H20.1.20(日)

しらさぎ卒団記念 3回戦 抽選負け

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
平和ドラゴンズ	0	0	0	0	0	3		3
ウエスタズ	3	0	0	0	0	0		3

H20.1.27(日)

山本杯

第8戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
フューチャーズ	1	0	0	1	2	0		4
ウエスタ ンズ	0	2	0	4	3	2		11

ウエスタズAチーム公式戦が全て終了。

山本杯 リーグ最多勝投手 芝田 大
チーム敢闘賞 伊神達也

Bチーム

試合無し

Cチーム

試合無し

試合結果のまとめ

Aチーム

しらさぎ卒団記念大会 3回戦敗退
山本杯 3勝
(5勝2敗1引分)

2月の試合予定

Aチーム

平成20年2月2日(土)
練習試合
対戦相手：グレートブラザーズ
平成20年2月11日(祝)
練習試合
対戦相手：愛知BCJ

Bチーム

平成20年2月11日(祝)
練習試合
対戦相手：名東ヒーローズ

Cチーム

日程未定

編集長を終え

2年間月刊ウエスタズの編集長をやらせて頂いた梅村です。

Aチームの卒団と共に私も引退致します。スコアを書いて原稿を書いてと毎月締切りに追われているコーチの方々には正直かなり大変だとは思いますが、子供たちが喜ぶ顔を思い出しこれからも頑張っていってください。至らない点がたくさんあったと思います。

ご指摘頂いた方々本当にありがとうございました。

今後も選手と同様に私も毎月月刊ウエスタズ楽しみにしています。

本当に2年間ありがとうございました。

お知らせ

次回4月号では、臼井代表よりコメント、Aチーム選手紹介を掲載する予定です。

ご意見ございましたら編集事務局までご連絡下さい。よろしくお願ひします。

編集事務局 梅村

編集者 中野・森山・白木